



第5号様式(第11条関係)

見解書

令和 7年 9月 2日

京都府知事 西脇 隆俊 様

林地開発行為予定者

住所 京都市左京区田中大堰町182

氏名 株式会社 リベルテ京都

代表取締役 宮井 文雄

京都府林地開発行為の手続に関する条例第8条第1項の規定による見解は、下記のとおりです。

記

意見書の写しに記載された意見の概要	左記の意見に対する見解
別紙参照	別紙参照

備考 個人に関する情報であって、特定の個人を識別することができるもの(他の情報と照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。)又は個人情報の保護に関する法律第2条第2項に規定する個人識別符号が含まれるものについては公表しませんが、その他の部分については本見解書を複写の上、原文のまま公表します。

て自然豊かな癒しの川です。流域では夏には螢が舞い、多くの人の目を楽しませています。私たち住民も総出で草刈りや流域の清掃を行うなど千丈川の愛護に努めています。そのような千丈川に産業廃棄物最終処理施設や操業終了後の埋め立て地から有害物質が流入し、汚染される事態になれば、みんなですべてきた自然環境が破壊されます。開発行為者の提示する措置によって汚染を防げる保証もなく、また、この措置が適正に実施される保証もありません。 古くから[]では千丈川等の水を利用して良質の米作りが行われてきました。また、隣接する大津市[]でも千丈川の水を引いて農業を行っておられます。もし、千丈川の水が汚染されれば[]や周辺の地域の農業に甚大な被害が及びます。 かつて陀羅谷地区で行われた事業跡地等からの流出水の心配から[]が大津市に水質検査を要望し、長期間にわたって毎年実施していただいています。千丈川の源である陀羅谷地区で産業廃棄物最終処分場が建設され、操業した場合、その建設工事段階から操業期間、そして操業終了後も永年にわたって[]の住民は、千丈川の水質汚染のリスクを抱え続けることとなります。次世代や次々世代の住民にそのようなリスクを残すことはできません。	悪化にはつながらず、勿論、虫にも顕著な悪影響はありません。 繊細な虫にも影響が出ない程度に水質が保たれたのは、紺清商事樹の事例が倥傯に恵まれたからではなく、科学的で多数の事例を踏まえた国の基準には、放流水質悪化の防止が考慮されており、その基準に基づいて自治体が適切に指導・監督する適法な処分場の場合、放流水質悪化が防止されるからです。 更に、本計画では、放流水質に特段の配慮を求める京都市当局の指導により、安定型産業廃棄物最終処分場の設置基準ではなく、紺清商事樹の最終処分地にも無かった、十分な容量の貯留施設や遮水シート等を計画し、放流水質の維持に万全を期しております。 放流水質を維持するよう定められた国の基準に準拠し、更に、上乗せした対策まで計画しているのですから御指摘のような水質悪化の可能性を危惧する必要はないと考えております。 また、これまで生活環境調査を以下の通り実施済みです。 ・平成18年生活環境調査実施計画書を作成し、調査開始 ・平成24年生活環境補足調査 ・平成27年生活環境追加調査
3 千丈川の増水による洪水の危険性について 千丈川は、流域住民の暮らしを支え、安らぎと潤いを提供してくれる貴重な河川ですが異常気象等で一瞬にして暴れ川に変貌します。昭和28年の水害では道路や畑が流失するなど大きな被害をもたらしました。大津市石山外畑町、石山内畑町、南郷町に大きな被害をもたらした平成24年の大津市南部の集中豪雨の際には千丈川も激しく増水し、場所によっては氾濫寸前になりました。その翌年、平成25年には集中豪雨による増水によって、千丈川下流の護岸の一部が崩壊し、洪水の危険にさらされ、付近の一部の住民が[]公民館に避難しました。気候変動によって、生命を脅かすような大量の雨が短時間に降る状況が年々増加しています。雨が降る度にすぐに増水し、大雨が長引い	3 千丈川の増水による洪水の危険性について 山林を一時的に伐採し、最終処分地としての営業を行っても、土砂災害や泥水流出の危険性が増大しないよう埋め立て完了部分から随時植栽を実施し原状回復を図るとともに、最終処分地の下流部には、関連法令で定められた厳格な許可基準に基づく十分な強度を持った重力式コンクリート擁壁(貯留構造物)や調整池を設置する計画としています。 なお、平成25年9月16日の災害の話題が出てきましたので言及しますが、災害時に直ちに重機と作業員を手配して土砂崩れ発生地に駆けつけ、千丈川に泥水が流出するのを防いだのは陀羅谷であり、陀羅谷を承継した㈱パベルデ京都こそ、最も千丈川の防

たりすれば、濁流のような流れになる千丈川の様子を見ている[]の住民としては、その源流付近の大規模な森林開発への不安はたいへん大きいものがあります。また、操業終了後の埋め立て地の地形は現状とは大きく変わり、千丈川の水量への影響はどうか大いに懸念されます。 千丈川の増水による洪水のリスクについても、森林開発段階から操業期間、操業終了後も永年にわたって[]の住民が抱え続けることになりそうです。どうか、自然が溢れ、千丈川を守ってくれている陀羅谷地区の森林の開発はやめてください。 4 その他 大津から陀羅谷地区へ向かう途中にある千町生産森林組合保有の私道（森林管理用道路）は、近隣住民の生活に必要な範囲での通行とハイキング等の余暇活動での通行のみを認め、営利事業目的での通行は認めていません。計画ではこの私道を使わないこととなっていていますが、計画上のルートは道幅も狭く蛇行しており、全車が計画通りのルートを使用するか不明であり、この私道を使用されるおそれも払拭できず、この点からも計画に反対します。	災や環境保持に真剣な実行者であると自負しております。 また、操業完了後において、閉鎖から廃止期間に係る維持管理費用（案）（産業廃棄物の最終処分場維持管理基準）を作成し維持管理を行います。 4 その他 搬入者には計画上のルートで搬入を徹底し事業を実施したいと考えております。
--	--

意見書 2 意見書の写しに記載された意見の概要	左記の意見に対する見解
本件林地開発行為に関して、私達地域住民の将来にわたる生活環境を守る立場から、地域住民の総意のもと以下のとおり意見を述べる。 1 生活環境が破壊される危険性 東西笠取地域並びに京都市醍醐一ノ切地域（通称陀羅谷地区）は、由緒ある風光明媚な山村地域であり、豊かな自然資源に恵まれた所でもある。 この通称陀羅谷地区内において、産業廃棄物最終処分場の開設にかかわる林地開発行為の計画が出されたことについて、我々は断固として反対するものである。 この計画において、陀羅谷地域への工事車両並びに産業廃棄物最終処分場開設後の産業廃棄物の運搬搬入経路として示されている府道醍醐大津線、並びに市道赤坂中島線は道路幅員が狭隘であり、普段の通行において、他者の車と出会ったとき離合するのに大変困っている現状である。 このような現状のもと、計画で示されるような6分に1台の割合で大型車両通行することとなれば、我々の生活道路としての通行に多大な危険が発生することとなる。 また、通行経路として示されている道路は高低差があるため、通行車両の増加による排気ガスや騒音等で、環境に対する大きな負荷が生じることとなる。 2 教育環境等に対する危険性の増大 市道庵ヶ谷森線の道路沿線には、地元の□小学校や高齢者介護施設、民間保育園、野外活動施設がある。 しかし、児童の校外学習や各福祉関係施設の入所者が散歩や野外活動	1 生活環境が破壊される危険性 住民の方々が危険を感じないような時速30km（原動機付自転車）の法定速度）での走行と搬入車（2トン車使用）に対向車がある場合さらなる徐行を行い地元の方々の優先を、搬入を担う業者に条件として課す計画です。排気ガスや騒音等受ける対象者から1ヵ月に1回程度意見交換を行う場を設置し対応について検討を行い改善に努めます。 急勾配区間や急曲線箇所については時速20km以下とします。 さらに、用地確保が可能な場所は、拡張等改良を含めて道路管理者と協議を行い可能な限り当社費用負担で拡張等実施します。 離合に関しては、現地踏査を行った結果府道醍醐・大津線に關しては約10ヶ所の離合可能な用地が存在しています。今後、離合場所確保を行うため、地権者及び道路管理者と協議を行います。新設の離合場所の維持管理は道路管理者にお願いしますが、維持管理してもらえない箇所については、弊社で行います。 2 教育環境等に対する危険性の増大 ケアホームや特別養護老人ホーム等に関しては、車両でのアクセスが主体と考えられますが、それらの車両が脅威と感じないよう徐行するよう、搬入業者に対して条件として課す考え

としてこの市道を利用されることが多く、現在歩道もないためこれまで以上の危険が想定される。 また、 小学校の 野外活動センター「」があり、年間を通じて市内外から子どもたちが野外活動のために来所している。以前に比べ道路事情は改善されてはいるが、まだ見通しの悪い箇所もあり、大型バス等の通行も増えているため交通事故などの発生が懸念される。	です。 また、徒歩の方々(ケアホームや特別養護老人ホームに徒歩で来られる方等)の優先を徹底するよう搬入業者に指導し、歩行者が集中する時間帯においては交通整理員を配置します。 通学時間 (7時～8時30分、16時～18時) は徐行するとともに交通整理員を配置し、搬入業者に安全の徹底を図ります。
3 最後に 以上のとおり、本件林地開発行為を行うことについては断固反対であり、絶対認められないように切に願うものであります。	3 最後に 以上のとおり、安全対策も含めて地区の意見を取り入れて反映させたいと考えています。
以上	以上